

より早く、よりの確に内容をとらえるために、Question と Keyword による Index をご利用ください。それぞれ各論文の要点を示す質問とキーワードで構成されています。

Question

Q1 現在の日本における医療のパラダイムシフトの要因としてあげられるものは何か？	642
Q2 プライマリ・ケア医の生涯教育の特徴は何ですか？	646
Q3 慢性腎臓病患者の診断で気をつける点は？	650
Q4 QuantiFERON®TB-2G 検査によって診断できることは何か？	653
Q5 QuantiFERON®TB-2G 検査がツベルクリン反応検査と比較して優れていることは何か？	653
Q6 小腸の検査法にはどのようなものがあるか？	656
Q7 ノロウイルス感染による胃腸炎は、カキを食べていない人でも発症するのか？	660
Q8 アルツハイマー病の危険因子には加齢、遺伝的背景以外にどのようなものがありますか？	664
Q9 高血圧治療で最も気をつけていることは何ですか？	666
Q10 スタチンの多面的作用 (pleiotropic effect) とは何ですか？	669
Q11 アメリカリウマチ学会の関節リウマチ診断基準について述べよ。	672
Q12 多発性骨髄腫 (骨髄腫) におけるサリドマイドの適応は？	675
Q13 サリドマイドはわが国でも使用できますか？	675
Q14 鼻炎と喘息を関連した疾患として考える呼び名は何か？	678
Q15 気管支喘息における鼻炎の合併率はどのくらいか？	678
Q16 ダニ感作とスギ感作はどちらが先行する患者が多いか？	678
Q17 経口薬で鼻炎と喘息に効果が期待される薬物の例をあげよ。	678
Q18 アドレナリン自己注射はどのような患者に処方でき、どのような効果があるのか？	680
Q19 t-PA 静注療法はどのような脳梗塞が適応になるのですか？	683
Q20 アトピー性皮膚炎治療でタクロリムス軟膏を用いる際の注意点は？	686
Q21 吸入ステロイドの効果は気管支喘息と COPD で同等であるか？	688
Q22 滲出型加齢黄斑変性の第一選択の治療法は？	692

Keyword

ACE 阻害薬	666	カプセル内視鏡	656	ステロイド外用薬	686
ARB	666	カボジ水痘様発疹症	686	成人学習	646
BCG 接種	653	加齢黄斑変性	692	セザリ-症候群	686
BPSD	664	患者中心の医療	642	潜在結核感染	653
Ca 拮抗薬	666	関節リウマチ	672	全小腸検査	656
COPD	688	感染性胃腸炎	660	タクロリムス軟膏	686
COPD 増悪	688	冠動脈疾患	666	多発性骨髄腫	675
DMARDs 早期導入	672	気管支喘息	678, 688	ダブルバルーン内視鏡	656
GFR 予測式	650	吸入ステロイド	688	超急性期脳梗塞	683
MCI	664	ケア	664	ツベルクリン反応検査	653
MRI	672	血清 Cr 値	650	頭蓋内出血	683
one airway, one disease	678	血栓溶解療法	683	内皮機能	669
pleiotropic effect	669	原因不明消化管出血	656	ネザートン症候群	686
QuantiFERON®TB-2G	653	抗 CCP 抗体	672	脳卒中	666
SRSV	660	抗炎症作用	669	ノロウイルス感染	660
t-PA	683	光線力学的療法	692	光凝固療法	692
2 次資料	646	骨びらん	672	費用効果分析	653
アセチルコリンエステラーゼ		サリドマイド	675	不確実性	646
阻害薬	664	灼熱感	686	ボルテゾミブ	675
アドレナリン自己注射	680	酒皸様皮膚炎	686	末梢気道	688
アナフィラキシー	680	術後腸管	656	慢性腎臓病	650, 666
アルツハイマー病	664	腫瘍血管新生	675	脈絡膜新生血管	692
アレルギー性鼻炎	678	生涯教育	646	求められる臨床医像	642
アレルギー感作	678	少子高齢化	642	予防対策	680
医療システム	642	食中毒	660	臨床マネジメント	642
合併率	678	食物アレルギー	680	レナリドマイド	675
家庭医	646	スタチン	669		